

ITARDA では、毎年全国の交通事故統計情報（死傷事故）を様々な切り口で集計した「統計表データ」をホームページにて提供しています。

交通事故統計情報には70以上の項目があり、それらを掛け合わせ集計することにより、交通事故の特徴が浮き彫りになります。

今回は、ホームページに掲載されている統計表を基に浮き彫りになった交通事故の特徴をいくつか紹介します。詳細な数値についてはホームページ内の「統計表データ」からご参照ください。

1. 交通事故の推移

2025年の交通事故件数は287,023件で前年（290,895件）より微減し、死亡事故件数も2,495件で前年（2,598件）より103件減少となり、長期的には減少傾向が継続しています。一方で、死亡重傷事故の割合は2014年以降高くなっている傾向にあります。

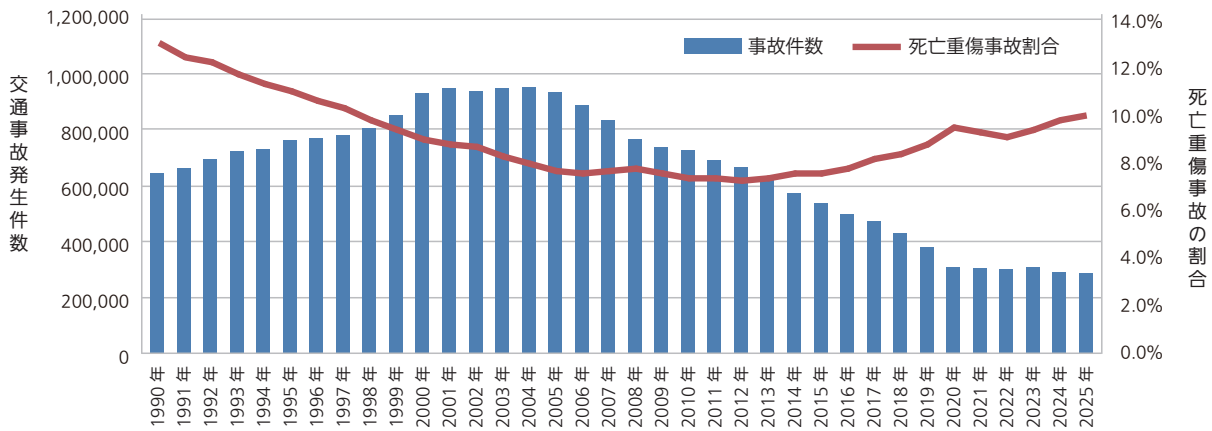


図1 交通事故件数および死亡重傷事故割合の推移

2. 2025年の交通事故

2-1. 道路種別 × 地形 × 道路形状（統計表番号 11BC102）

■交通事故の多くは市街地の市町村道で発生しています

交通事故はどんな場所で起きているのでしょうか。道路種類別で見ると、市町村道が128,591件と最も多く、交通事故全体の約4割を占めています。

さらに、地形別および道路形状別で見ると、「市町村道、市街地、信号無交差点」が46,296件と最も多く、次いで「市町村道、市街地、単路」が34,815件、「一般国道、市街地、単路」が19,223件となっています。

このように生活に身近な市街地の市町村道において事故が多く発生していることが分かります。

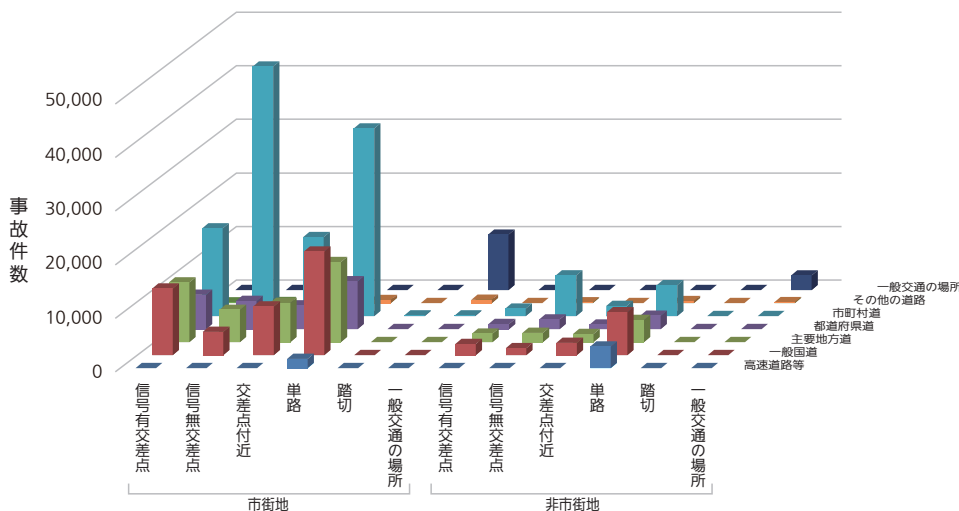


図2 地形別、道路形状別、道路種類別事故件数（2025年）

地形	道路形状	高速道路等	一般国道	主要地方道	都道府県道	市町村道	その他の道路	一般交通の場所	総計
市街地	信号有交差点	0	12,364	11,062	6,321	16,237	94	0	46,078
	信号無交差点	5	4,323	5,962	5,184	46,296	178	0	61,948
	交差点付近	23	9,036	7,272	4,388	14,615	110	0	35,444
	単路	1,721	19,223	14,853	8,833	34,815	577	0	80,022
	踏切	0	3	1	8	95	6	0	113
	一般交通の場所	20	19	22	5	120	631	10,214	11,031
	市街地合計	1,769	44,968	39,172	24,739	112,178	1,596	10,214	234,636
非市街地	信号有交差点	1	2,076	1,525	936	1,341	27	0	5,906
	信号無交差点	6	1,294	1,696	1,750	7,492	113	0	12,351
	交差点付近	35	2,286	1,491	822	1,836	54	0	6,524
	単路	4,030	7,986	4,091	2,448	5,702	375	0	24,632
	踏切	0	0	1	0	18	2	0	21
	一般交通の場所	120	15	6	5	24	156	2,627	2,953
	非市街地合計	4,192	13,657	8,810	5,961	16,413	727	2,627	52,387
総計		5,961	58,625	47,982	30,700	128,591	2,323	12,841	287,023

表1 地形別、道路形状別、道路種類別事故件数（2025年）

2-2. 当事者の組合せ（統計表番号 21GZ107）

■全事故では「乗用車同士の事故」、死亡事故は「乗用車と歩行者の事故」が最多

第一当事者と第二当事者の組み合わせでみると、「乗用車対乗用車」の事故が95,330件と最も多く、全体の約3割を占めています。次いで、「乗用車対自転車」が37,922件、「乗用車対歩行者」が26,949件となっています。

一方、死亡事故では「乗用車対歩行者」の事故が528件と最も多く、死亡事故件数全体の約2割を占めています。次いで「乗用車の単独事故」が307件、「貨物車対歩行者」が218件となっており、事故全体と死亡事故では当事者の組み合わせに異なる傾向がみられます。

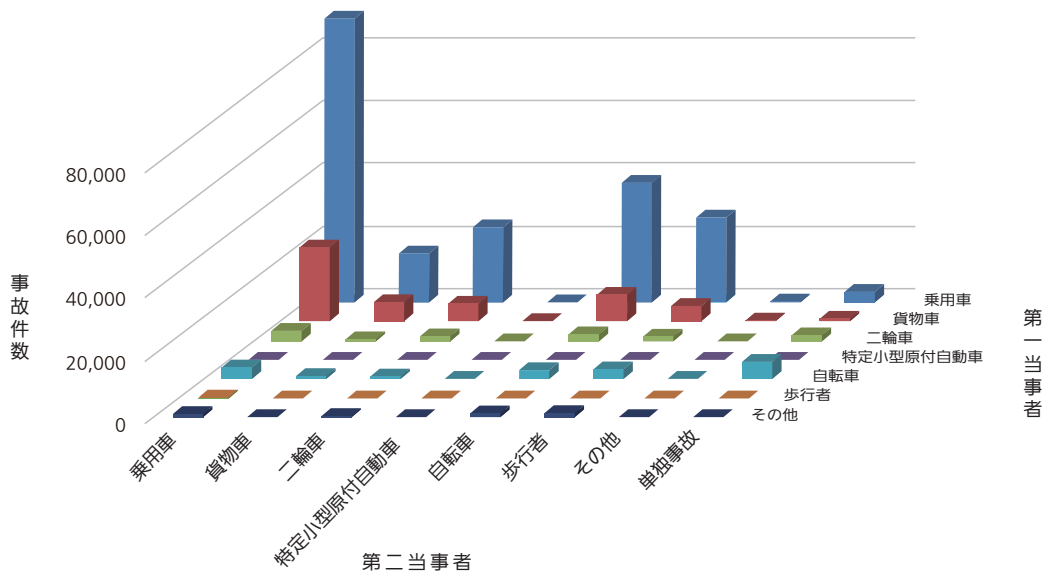


図3 当事者相関別事故件数（2025年）

	第一当事者							計	
	四輪車		二輪車	特定小型原付自動車	自転車	歩行者	その他		
第二当事者	乗用車	貨物車							
四輪車	乗用車	95,330	23,197	3,415	40	3,807	341	1,250	127,380
	貨物車	15,543	6,017	695	12	817	86	218	23,388
二輪車		23,705	5,482	1,505	6	698	61	438	31,895
特定小型原付自動車		87	27	6	2	15	0	5	142
自転車		37,922	8,473	2,202	42	3,017	22	1,453	53,131
歩行者		26,949	4,852	1,537	56	3,247	-	1,535	38,176
その他		318	92	34	1	93	38	10	586
単独事故		3,637	788	2,071	87	5,662	-	80	12,325
計		203,491	48,928	11,465	246	17,356	548	4,989	287,023

表2 当事者相関別事故件数（2025年）

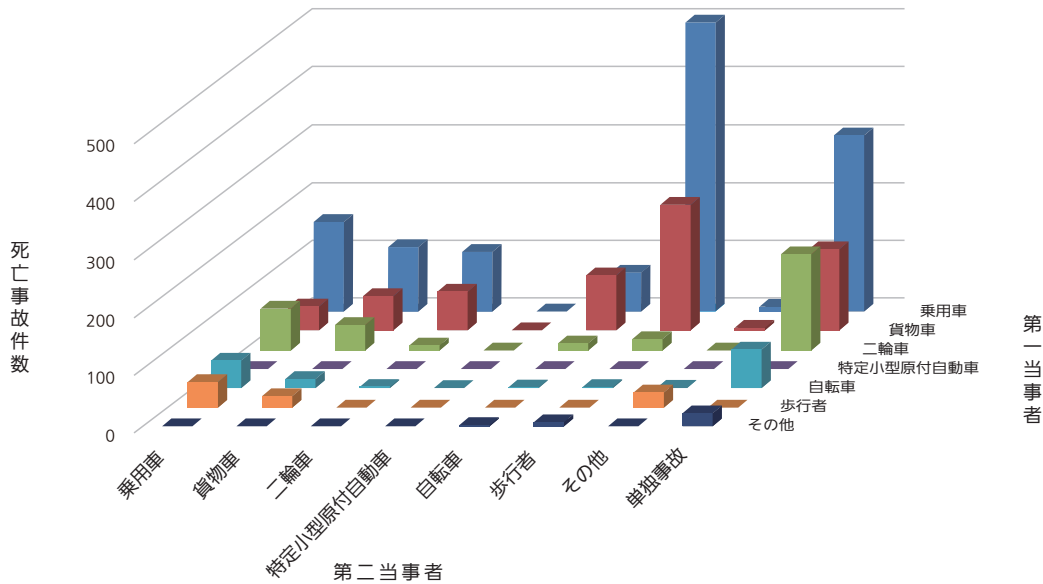


図4 当事者相関別死亡事故件数（2025年）

第二当事者		第一当事者							計
		四輪車		二輪車	特定小型原付自動車	自転車	歩行者	その他	
乗用車	貨物車								
四輪車	乗用車	155	42	72	0	47	45	0	361
	貨物車	112	60	44	0	16	21	0	253
二輪車		105	67	10	0	2	1	1	186
特定小型原付自動車		1	0	0	0	0	0	0	1
自転車		68	95	0	0	1	0	2	166
歩行者		528	218	21	0	3	0	7	777
その他		9	5	3	0	1	27	0	45
単独事故		307	141	166	0	68	0	24	706
計		1,285	628	316	0	138	94	34	2,495

表3 当事者相関別死亡事故件数（2025年）

2-3. 学齢別 × 通行目的（統計表番号 41JG201）

■中学生以下の自転車・歩行者で交通事故による死傷者が多いのは登下校中

中学生以下の死傷者数は、自転車乗用中が 8,036 人、歩行中が 4,085 人となっています。

通行目的別にみると登下校中に事故に遭うケースが多く、特に歩行中の小学校低学年と自転車乗用中の中学生の死傷が多いようです。

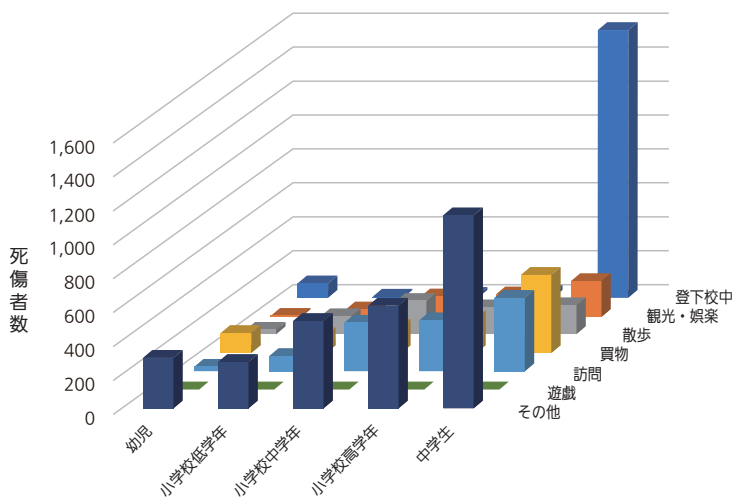


図5 自転車乗用中の学齢別・通行目的別死傷者数（2025年）

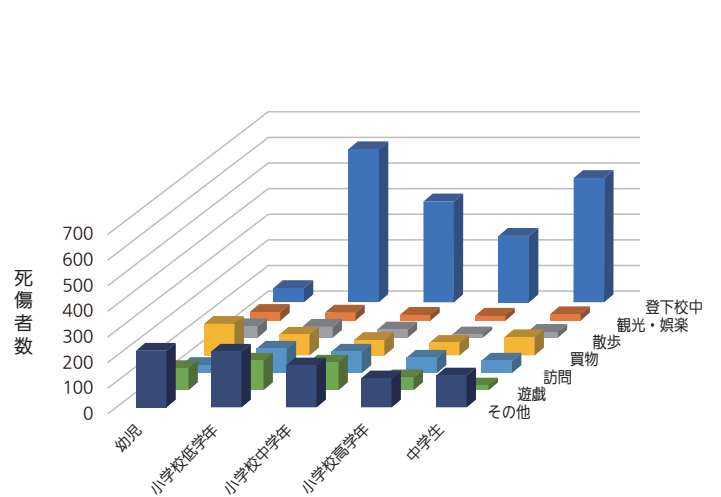


図6 歩行中の学齢別・通行目的別死傷者数（2025年）

	自転車								歩行者							
	登下校中	観光・娯楽	散歩	買物	訪問	遊戯	その他	合計	登下校中	観光・娯楽	散歩	買物	訪問	遊戯	その他	合計
幼児	87	8	28	119	32	0	305	579	61	37	44	127	31	84	226	610
小学校低学年	6	45	114	110	98	0	280	653	606	34	44	84	94	115	222	1,199
小学校中学年	16	122	204	160	291	0	524	1,317	402	26	33	65	84	107	168	885
小学校高学年	34	136	166	209	307	0	614	1,466	265	20	14	52	59	50	116	576
中学生	1,590	213	174	465	438	0	1,141	4,021	492	26	25	75	47	19	131	815
合計	1,733	524	686	1,063	1,166	0	2,864	8,036	1,826	143	160	403	315	375	863	4,085

表4 自転車および歩行者の学齢別・通行目的別死傷者数（2025年）

2-4. 人的要因（統計表番号 00ZN101）

■65歳以上の高齢者によるブレーキとアクセルの踏み間違い事故が増加

第一当事者の四輪車による2025年のブレーキとアクセルの踏み間違いによる事故は2,926件で、近年は横ばい傾向にありますが、65歳以上の高齢者の割合は上昇しているのが分かります。

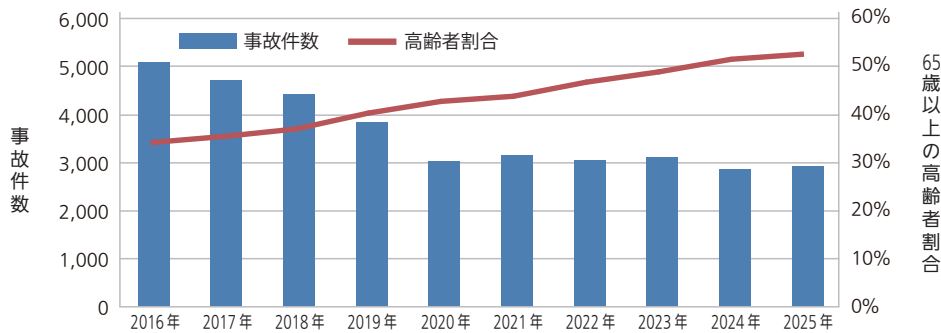


図7 ブレーキとアクセルの踏み間違いによる事故件数の推移（1当四輪車、2025年）

	全体	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	非高齢者	高齢者 (65歳以上)	高齢者割合
2016年	5,085	277	1,109	590	539	473	794	854	449	3,338	1,747	34.4%
2017年	4,722	252	981	526	532	457	718	766	490	3,038	1,684	35.7%
2018年	4,431	204	842	466	509	475	678	810	447	2,779	1,652	37.3%
2019年	3,845	167	682	410	380	386	587	800	433	2,279	1,566	40.7%
2020年	3,020	138	541	266	281	288	466	646	394	1,715	1,305	43.2%
2021年	3,164	138	523	276	304	332	447	728	416	1,763	1,401	44.3%
2022年	3,050	149	447	217	256	329	490	713	449	1,608	1,442	47.3%
2023年	3,110	108	417	250	242	333	490	766	504	1,572	1,538	49.5%
2024年	2,853	82	379	218	227	286	453	736	472	1,365	1,488	52.2%
2025年	2,926	104	354	208	186	285	493	790	506	1,365	1,561	53.3%

表5 ブレーキとアクセルの踏み間違いによる年齢別事故件数の推移

3. おわりに

交通事故統計をみると、年齢、道路環境、当事者の組み合わせなどによって、事故の発生傾向に違いがあることが分かります。

統計表を活用することで、事故の実態や特徴をより具体的に把握することが可能です。

今回、取り上げた内容以外にも、ホームページには統計表データが掲載されています。ぜひあわせてご活用いただき、交通事故の防止や被害の軽減にお役立てください。

イタルダ 統計表データ 🔍



※ダウンロードには会員登録が必要です。



公益財団法人
交通事故総合分析センター
Institute for Traffic Accident Research and Data Analysis

<https://www.itarda.or.jp>

●イタルダインフォメーションに関するお問い合わせ先

✉ koho@itarda.or.jp

